

■一般目標 (GIO)

小児歯科治療の目的および臨床的位置づけと歯科技工の関わりを理解するために、治療に用いる装置の目的、構成、使用材料と製作法を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・小児歯科学の目的およびその臨床的な位置づけを説明できる。
- ・歯の発育について説明できる。
- ・保隙装置の意義と目的を説明できる。
- ・咬合誘導装置に用いる維持装置の種類を列挙し、特徴と製作法を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 小児歯科技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：金曜日 18:00～18:45

■オフィスアワー：今井 秀行(imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 水曜日・17:00～17:50

■成績評価：定期試験（80%）と平常試験（20%）で評価する。平常試験は解説を行いフィードバックする。

■注意事項：ノート，教科書を持参すること。

■授業方法：講義時に教科書と配付プリントを持参すること。

■準備学習：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：河野 隆之：歯科医院を開業しながら校医等も務めている。小児歯科臨床の経験を基に歯科医師の立場から、本教科で学ぶ内容の理論がいかに重要であり活かされるかを講義する。

■関連教科：小児歯科技工学（3年）

■予定表：

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|---------------------|--|--|
| 第1回 10月18日 今井 秀行 | 1. 小児歯科技工概説 1) 乳歯列期の場合 2) 混合歯列期の場合 (教) pp. 1-5 | ・小児歯科学の目的およびその臨床的な位置づけを説明できる。 ・小児歯科技工の目的を説明できる。 |
| 第2回 10月25日 河野 隆之 | 2. 歯・顎・顔面の成長発育(1) 1) 成長発育段階 2) 成長発育と年齢 3) 顎・顔面の成長発育 (教) pp. 6-13 | ・小児の成長発育について説明できる。 ・顎顔面の成長発育について説明できる。 |
| 第3回 11月1日 河野 隆之 | 2. 歯・顎・顔面の成長発育(2) 3) 顎・顔面の成長発育 4) 歯と歯列の発育 (教) pp. 13-21 | ・顎顔面の成長発育について説明できる。 ・歯の萌出について説明できる。 ・乳歯の形態的特徴を説明できる。 |
| 第4回 11月8日 河野 隆之 | 2. 歯・顎・顔面の成長発育(3) 4) 歯と歯列の発育 (教) pp. 18-27 | ・歯列の発育について説明できる。 ・歯間空隙について説明できる。 ・ヘルマンの歯齢について説明できる。 ・ターミナルプレーンの定義と意義を説明できる。 |
| 第5回 11月15日 河野 隆之 | 2. 歯・顎・顔面の成長発育(4) 4) 歯と歯列の発育 | ・歯列の発育について説明できる。 ・ターミナルプレーンと第一大臼歯との関係を説明できる。 |

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修到達目標 |
|----------------------|---|---|
| | (教) pp. 26-33 | <ul style="list-style-type: none"> ・切歯の交換様式を説明できる。 ・リーウェイススペースの定義と重要性を説明できる。 |
| 第6回 11月22日 今井 秀行 | 第1～5回まとめ 「平常試験」, 解説 (教) pp. 1-33 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯, 顎, 顔面の成長発育について総合的に解釈できる。 ・第1～5回の講義内容を再確認し, 解釈できる。 |
| 第7回 11月29日 今井 秀行 | 3. 小児の歯冠修復 (教) pp. 34-37 | <ul style="list-style-type: none"> ・小児の歯冠修復の種類と特徴を説明できる。 |
| 第8回 12月6日 今井 秀行 | 4. 咬合誘導装置の種類 (教) pp. 38-41 | <ul style="list-style-type: none"> ・保隙装置の意義と目的を説明できる。 ・保隙装置の種類を分類できる。 |
| 第9回 12月13日 今井 秀行 | 5. 保隙装置(1) 1) クラウンループ保隙装置 2) バンドループ保隙装置 (教) pp. 41-45 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラウンループ保隙装置の目的, 構成および製作法を説明できる。 ・バンドループ保隙装置の目的, 構成および製作法を説明できる。 |
| 第10回 12月20日 今井 秀行 | 5. 保隙装置(2) 3) ディスタルシュー保隙装置 (教) pp. 46-50 | <ul style="list-style-type: none"> ・ディスタルシュー保隙装置の目的と構成を説明できる。 |
| 第11回 12月27日 今井 秀行 | 5. 保隙装置(3) 4) リンガルアーチ 5) ナンスのホールディングアーチ 6) 可撤保隙装置 (教) pp. 51-60 | <ul style="list-style-type: none"> ・リンガルアーチの目的, 構成および製作法を説明できる。 ・ナンスのホールディングアーチの目的と構成を説明できる。 ・可撤保隙装置の目的, 構成および製作法を説明できる。 |
| 第12回 1月10日 今井 秀行 | 6. スペースリゲーター 1) 拡大ネジを応用したスペースリゲーター 2) アダムスのスプリングを応用したスペースリゲーター (教) pp. 61-68 | <ul style="list-style-type: none"> ・スペースリゲーターの目的, 構成および製作法を説明できる。 |
| 第13回 1月17日 今井 秀行 | 7. 口腔習癖除去装置 (教) pp. 69-71 | <ul style="list-style-type: none"> ・口腔習癖の種類と口腔への影響を列挙できる。 ・口腔習癖除去装置の種類を説明し, 構成を列挙できる。 |
| 第14回 1月24日 今井 秀行 | 8. 咬合誘導装置に用いる維持装置 (教) pp. 72-80 | <ul style="list-style-type: none"> ・咬合誘導装置に用いる維持装置の種類を列挙し, 特徴と製作法を説明できる。 ・アダムスのクラスプを製作できる。 |
| 第15回 2月7日 今井 秀行 | 9. 前期のまとめ 「平常試験」, 解説 (教) pp. 1-80 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1～14回の講義内容を再確認し, 理解度を深める。 |